

「小さな学校」だからできる教育活動の展開

～国語科を中心とした

「東小かぜのご学習モデル」の構築～

仮説 1

単元終了時に身に付けたい力を児童と共有し、児童の思考を促すような「東小かぜのご学習モデル」を具体的に展開することで、児童は意欲的・主体的に学習に取り組むだろう。

研究の視点① 学習過程の工夫

- ア 課題提示の工夫（子どもたちの学習意欲の向上）
- イ 課題に対する自分の考えの記録（書く）
- ウ 協働学習の工夫（発表に対する教師のコーディネート力）と板書の構造化
- エ 自分や他者の伸びを実感できる振り返り

仮説 2

家庭学習の推進やICTの効果的な活用、個別学習の充実等を図ることで、基礎的・基本的事項の内容が子どもたちに定着するだろう。

研究の視点② 基礎・基本事項の定着

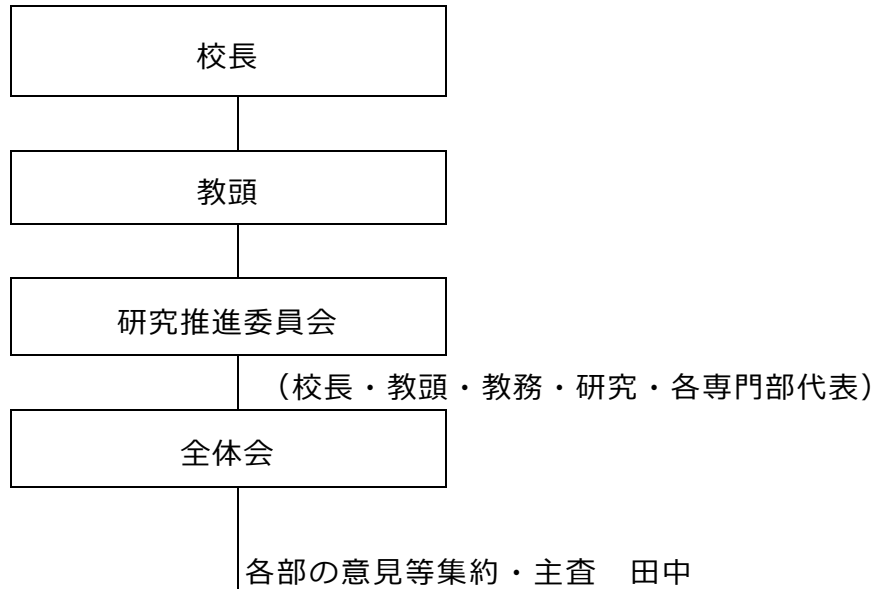
- ア 自分で考え、自分で計画する家庭学習の取組
- イ 児童全員に内容定着を図る小テストの実施と個別学習の取組
- ウ レベルアップタイム（学力充実のための取組）
- エ ICTの活用



「東小かぜのご学習モデル」を支える基盤として

- 一人一人が認められ、安心できる集団づくりの推進
 - 学級経営 委員会活動 係・当番活動 朝の会・帰りの会 縦割班活動
 - 家庭教育 地域連携 コミュニティ・スクール
- 県学調・町学調の結果分析と取組活用

研究の組織（案）



「東小かぜのご学習モデル」推進部	基礎基本定着部
<p style="text-align: center;">後藤 田中</p> <p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習構想案の検討 ・「東小かぜのご学習モデル」において育てたい力・子どもの姿提案 	<p style="text-align: center;">水間 岩田 建岡</p> <p><主な取組></p> <p>レベルアップタイム・家庭学習・I C T機器の活用・音読・日記等の提案と実施</p>
集団づくり部	資料統計部
<p style="text-align: center;">城 栗原 日吉</p> <p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・係や当番活動、委員会活動、縦割班活動の提案 ・家庭教育や地域連携等の推進 	<p style="text-align: center;">水間 田中 栗原 各担任</p> <p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県学調・町学調の結果分析と取組活用